



創業・移住支援ポータルサイト「うきはのはなし」特別編 大学生による市内事業所インタビュー
株式会社 宮崎建設



株式会社宮崎建設
 代表取締役社長
青木 翼さん

うきは市では、創業・移住支援ポータルサイト「うきはのはなし」の中で市内創業者・事業所の紹介をしています。
 昨年度に引き続き、広報うきはでも久留米大学生による取材記事を掲載します。
 うきは市の様々な産業の魅力をお届けします。

■ トップインタビュー ■

Q. 創業から現在に至るまでの御社の歴史と事業内容を教えてください

昭和 48 年に宮崎建設として創業しました。町屋大工から始まって、昭和 50 年頃から宮大工としてお寺などを作り始めました。そして、平成 2 年に有限会社宮崎建設へ法人化しました。事業内容としては、社寺建築設計・施工を行っています。これまでに 200 件以上の社寺仏閣を施工させて頂いています。

Q. 御社が誇れること（強み）やこだわりを教えてください

一番の強みは、製材所がある宮大工であるということです。現在の建設業界では、多くの会社が大工と製材所を分業しており、一般的な宮大工であれば、製材した角材を仕入れて、使用します。それに対して、弊社では市場での丸太の買い付けから行うことで、木一本一本のくせや乾燥期間、育成環境などを把握したうえで、木を大切にしたい無駄のない製材を行い、使用しています。

Q. 会社として挑戦したいこと、伸ばしていきたいところはどこですか

皆さんに木の良さを再認識して頂きたいです。その取り組みとして、伐採体験を行おうと思っています。自分で伐採した木を自分の建てるお寺の一部に使用できます。将来的には、植林体験も行い、山に還元していくのを実感して頂ければと思います。

Q. 中小企業の強みはどんなことだと思いますか

中小企業の強みは、決断までのスピード感が早いことです。ここが大手との違いですね。社員とトップが直接話をして、連携を取ることができて隔たりがとても少ないです。また、コミュニケーションを取る上で、不満なども直接聞いて改善やアドバイスにつなげることができています。

Q. 学生に伝えたいことはありますか

学生時代にしかできないことを通して、いろいろな価値観に触れてほしいということです。就職したり家族ができたりすると分かることですが、自分のためだけに時間やお金を使えるのは学生時代までだと思います。特に、大学生は長期の休みなどが多いので、それを利用して旅行に行くというのも良いと思います。大学生生活は 4 年間しかありませんが、その中で様々な経験をしてほしいなと思います。

Q. うきは市の皆さんに伝えたいことはありますか

市民の方と直接関わることがないので、今回の取材をきっかけに、宮崎建設という会社を知って頂いて、少しでも宮大工という仕事に目を向けて頂けたらと思っています。そして、特に若い方に地元で働く意識を持って頂きたいです。

★取材を終えて★

宮崎建設さんは、製材所がある建設会社というのが強みで、製材所にかかるとお金を覚悟でその強みにこだわり続ける姿勢に感動しました。

今回の取材で、少しでも多くの方に宮大工に興味を持って頂けたらと思います。（古賀）

宮崎建設の代表である青木さんからは、建設業に興味を持ってもらいたいという意志が強く感じられました。体験をしたら価値観も変わると思うので自分も実際に触れてみたいなと思いました。（海江田）

一般住宅建設とは異なり、工期が非常に長い社寺建設において、丸太の買い付けや製材するところから自社で行うという徹底した品質管理をされているというところに会社の強いこだわりを感じました。（高橋）



久留米大学 3 年
 古賀 悠太



久留米大学 3 年
 海江田 曜典



久留米大学 2 年
 高橋 世馬

会社名 株式会社宮崎建設
 所在地 うきは市浮羽町小塩 1553
 電話 0943-77-4422
 F A X 0943-77-4432
 HP <http://miyazaki-kensetsu.co.jp/>

この記事に関する問い合わせ先
 うきはブランド推進課商工振興係
 TEL:0943-76-9095
 取材協力：筑後信用金庫

創業・移住支援ポータルサイト

うきはのはなし